【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成28年6月9日(2016.6.9)

【公開番号】特開2014-12126(P2014-12126A)
【公開日】平成26年1月23日(2014.1.23)
【年通号数】公開・登録公報2014-004
【出願番号】特願2013-111850(P2013-111850)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　7/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　7/02　３２６Ｚ
Ａ６３Ｆ　7/02　３０１Ｃ
Ａ６３Ｆ　7/02　３３４
Ａ６３Ｆ　7/02　３５２Ｌ

【手続補正書】
【提出日】平成28年4月14日(2016.4.14)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項１】
有価価値の情報が記録された記録媒体の投入を受け入れることが可能であり、その受け入れた前記記録媒体に記録されている有価価値の情報の読取りを行なうユニットと相互通信が可能に接続され、所定数の遊技球を内部に封入して該遊技球を循環的に使用して遊技を行い、該遊技の進行に応じて発射可能な持球の数の情報を更新し管理する遊技機であって、
遊技者により遊技球の貸出指示がなされると、前記ユニットから情報を取得し、該情報の範囲内で前記持球の数の情報を増加させる貸出手段と、
遊技者により精算指示がなされると、前記持球の数の情報を前記ユニットに移行させる精算手段と、
遊技機の電源が遮断された場合、電源遮断直前の遊技状態の情報を記憶保持し、電源復帰後に前記情報に基づいて遊技を再開できるようにするためのバックアップ手段と、
を備える封入式遊技機において、
遊技者による精算指示がなされなくても、前記持球の数の情報を前記ユニットに移行させる緊急持球情報移行手段と、を備え、
該緊急持球情報移行手段、及び前記精算手段以外で前記管理する前記持球の数の情報を前記ユニットに移行しない構成とし、
前記緊急持球情報移行手段は、当該封入式遊技機への電源断の発生を検知したことに起因して前記持球の数の情報を前記ユニットに移行させるようにし、
電源復帰後の当該封入式遊技機にて管理する前記持球の数を、前記緊急持球情報移行手段によって前記持球の数情報が前記ユニットに移行させる直前の当該封入式遊技機にて管理する前記持球の数から前記緊急持球情報移行手段によって前記ユニットに移行させた前記持球の数を引いた値になるようにし、
遊技の進行を停止させる進行停止手段と、
該進行停止手段により停止している遊技の進行を再開させる進行再開手段と、を備え、
前記進行停止手段は、電源復帰時に前記バックアップ手段が記憶する前記情報に基づいて遊技を再開する前に、遊技の進行を停止させ、

前記進行再開手段は、前記ユニットから特定の信号が入力されることに起因して、前記進行停止手段によって停止している遊技の進行を再開させる
ことを特徴とする封入式遊技機。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１３】
請求項１記載の遊技機は、
有価価値の情報が記録された記録媒体の投入を受け入れることが可能であり、その受け入れた前記記録媒体に記録されている有価価値の情報の読取りを行なうユニットと相互通信が可能に接続され、所定数の遊技球を内部に封入して該遊技球を循環的に使用して遊技を行い、該遊技の進行に応じて発射可能な持球の数の情報を更新し管理する遊技機であって、
遊技者により遊技球の貸出指示がなされると、前記ユニットから情報を取得し、該情報の範囲内で前記持球の数の情報を増加させる貸出手段と、
遊技者により精算指示がなされると、前記持球の数の情報を前記ユニットに移行させる精算手段と、
遊技機の電源が遮断された場合、電源遮断直前の遊技状態の情報を記憶保持し、電源復帰後に前記情報に基づいて遊技を再開できるようにするためのバックアップ手段と、
を備える封入式遊技機において、
遊技者による精算指示がなされなくても、前記持球の数の情報を前記ユニットに移行させる緊急持球情報移行手段と、を備え、
該緊急持球情報移行手段、及び前記精算手段以外で前記管理する前記持球の数の情報を前記ユニットに移行しない構成とし、
前記緊急持球情報移行手段は、当該封入式遊技機への電源断の発生を検知したことに起因して前記持球の数の情報を前記ユニットに移行させるようにし、
電源復帰後の当該封入式遊技機にて管理する前記持球の数を、前記緊急持球情報移行手段によって前記持球の数情報が前記ユニットに移行させる直前の当該封入式遊技機にて管理する前記持球の数から前記緊急持球情報移行手段によって前記ユニットに移行させた前記持球の数を引いた値になるようにし、
遊技の進行を停止させる進行停止手段と、
該進行停止手段により停止している遊技の進行を再開させる進行再開手段と、を備え、
前記進行停止手段は、電源復帰時に前記バックアップ手段が記憶する前記情報に基づいて遊技を再開する前に、遊技の進行を停止させ、
前記進行再開手段は、前記ユニットから特定の信号が入力されることに起因して、前記進行停止手段によって停止している遊技の進行を再開させる
ことを特徴とする封入式遊技機である。

【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１９】
当該封入式遊技機への電源断の発生を検知したことに起因して、緊急持球情報移行手段を実施するが、該緊急持球情報移行手段による持球の数の情報をユニットが受信すると、該ユニットは受信した情報をカードに入力した後、該カードを排出する構成が望ましい。なお、電源が遮断された後に緊急持球情報移行手段によって持球の数の情報をユニットに

移行させる場合は、バックアップ電源を利用して移行させる構成としてもよい。